



住みたくなるまち

南区自治協議会だより

平成28年12月18日発行 第7号

区自治協議会は、区民の皆さんと行政との「協働の要」となるよう、区民の身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行っています。活動内容などについて、区民の皆さんに随時お知らせします。

自治協議会研修に参加して

南区自治協議会委員 渡辺 悦子

10月14日秋晴れの下、南区自治協議会研修が開催され、10名の委員が参加しました。

昭和初期の特徴ある街並みが残る「白根商店街」周辺を、しろね大風タウンガイドの方と「まち歩き」をし、地域の魅力を発見し、今後の地域づくりのきっかけとすることを目的に計画されたものです。

当日は、南区役所9時4分発のまちなか循環バス「ぐるりん号」に乗り、まち歩き出発場所の本町通りミニパークへ。9時30分から2時間半、タウンガイドの方から白根の歴史を学びながら散策しました。

昭和初期の建造物が多く残る商店街、情緒ある狭い小路、白根丸・安進丸の船が重要な交通手段だった頃の船着き場周辺の通り等々、普段何気なく通り過ぎていた場所も、写真を見ながら説明を受け、昔の光景が目につくタイムスリップしそうな感覚になりました。

今回のまち歩きで、白根は風合戦だけではなく、歴史のある文化的価値のある町であるとの認識ができました。この街並みを保存していくことの困難さも感じられましたが、ぜひとも多くの方が白根の町の貴重な価値を認知して、保存に向けた方向に進んでくれることを願っています。



第1部会 公共交通PR事業について

第1部会委員 小林 孝

第1部会は、活動の分野が、公共交通に加えて「防犯・防災、環境、建設、都市計画等」と活動範囲が広がっています。

今年度は、昨年度までの流れをくみ、公共交通の諸課題に対する取り組みに特化して活動を継続しました。具体的には「南区風フェスティバル&産業まつり」のイベントにおいて、区バス啓発事業として、新しい循環バスのルートを回るすごろくゲームを開催しました。9月から社会実験で、まちなか循環バス「ぐるりん号」が医院・商業施設等を回るルートに変更したのですが、お孫さんと一緒にゲームに参加された高齢者の方から、医院などに行くのに便利になったなどの声も聞かれました。

またイベントに合わせて、「ぐるりん号」の臨時運行の実施や、区バス等のPRパネル展示などを行いました。さらに、連節バス(ツインくる)の特別展示を行い、500人余の方々から車内を見学していただきました。

今後は、より多くの方に公共交通に関心を持ってもらい、南区の区民にとって使いやすい、より快適な公共交通に繋がるよう、10年、20年先を見据え、さらなる工夫をし、公共交通の利用啓発に取り組んで行く必要があると思っています。



第2部会 家族ふれ愛月間について 小松みゆきさん講演会&映画上映会

第2部会長 高橋 文子

平成28年11月13日(日)、白根学習館のラスパックホールにおいて、新潟県魚沼市出身で、ベトナムで日本語教師として働きながら、認知症の母親を呼び寄せ介護した日々をつづった「ベトナムの風に吹かれて」の著者小松みゆきさんを講師にお迎えし、「老いを柔(やさ)しく受けとめて」をテーマに講演会と、映画の上映会を開催しました。

また、1階のロビーでは絵画・川柳展も開催し、当日は400人を超える来場者で会場はほぼ満席となる盛況ぶりでした。

当日お越しの方からは「母の介護経験を思い出しました。講演を聴いてからの映画上映だったのでわかりやすかったです。」とご意見をいただいたり、アンケートでも「介護の大変さを正直に語ってもらってよかった」や「気が楽になった」、「自分と重なった」などのご感想をいただきました。



認知症は特別なことではなく、人生楽観主義でいけばどんな逆境におかれても大丈夫なんだよとエールを頂いたように思いました。有意義な一日ありがとうございました。

第3部会 地域交流事業について

第3部会長 市嶋 洋介

私たち南区自治協議会第3部会は、本年度主に農商工連携や地域住民の交流について課題を考え協議を重ねてきました。

その中で、地域の交流事業について、昨年度も行った「南区綱引き合戦」を引き続き企画することに決まりました。昨年は参加いただいた方からチーム一丸となり綱引きを楽しんでいただき、寒さも吹き飛ばす盛り上がったイベントとなりました。今年度も競技を通して交流を深めていただける機会となるよう、企画・運営に努めていきたいと考えておりますので、皆様ぜひご参加ください。



平成27年度地域交流事業の様子
「第1回南区綱引き合戦」

第2回 南区綱引き合戦

- 日時** 平成29年2月5日(日) 午前9時15分～午前11時30分
- 会場** 白根カルチャーセンター メインアリーナ
- チーム数** 各地域コミュニティ協議会から2チーム以内

※参加申し込みについては各地域のコミュニティ協議会へお問い合わせください。